

研修医評価表（泌尿器科）

A：十分達成 B：ほぼ達成 C：やや不十分 D：全く不十分 NA：評価できない

評 価 項 目	研修医					指導医				
	A	B	C	D	NA	A	B	C	D	NA
病歴、診察から適切な治療計画の作成ができる										
泌尿器疾患の診断に必要な検査を理解し、オーダーすることができる										
泌尿器疾患の診断に必要な検査結果を正しく判断し、的確に疾患や状態を診断できる										
導尿ができる										
尿道バルーン留置、膀胱尿道鏡、逆行性尿路造影が指導の下で施行できる										
前立腺生検が指導の下で施行できる										
経尿道的手術の実際を理解し、チームの一員として治療が行える										
泌尿器腹腔鏡下手術、ロボット支援手術の実際を理解し、チームの一員として参加ができる										